特集 東京スカイツリー開業

東京スカイツリー オフィシャル／フレンドシップホテル

眺望抜群、上質なひと時

東京スカイツリーを訪れる国内外の旅行者をもてなすため、東京、成田の計6ホテルが東京スカイツリーのオフィシャルホテル、フレンドシップホテルになっている。オフィシャルホテルは、東武ホテルレバント東京、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル、成田東武ホテルエアポート。フレンドシップホテルは、第一ホテル両国、浅草ビューホテル、ホテルイースト21東京。各ホテルは、オフィシャル・フレンドシップホテルならではのサービスも提供していく。

東武ホテルレバント東京
レストランを改装

眺望も楽しめる「簾」

東武ホテルレバント東京（東京都墨田区）は、382ある全客室のうち、北側190室からは東京スカイツリーを、南側の一部客室からは東京タワーの眺望を望める。東京スカイツリー天望デッキ日付指定入場券引換券が付いた豪華な宿泊プランも用意。インターネットのみの限定発売ながら大変好評という。

昨年10月にリニューアルオープンしたのは24階にある「スカイツリービューレストラン&バー　簾（レン）」と2階の「スーパーダイニング　ヴェルデュール」。

簾は、スカイツリーの眺望を楽しみながら、心地よい空間でゆったりと寛げる新しいコンセプトのレストラン&バー。産地にこだわった食材を用い、和をベースに洋を取り入れた創作料理が好評だ。スカイツリー側の席は人気が高く、早めの予約が必要という。

一方のヴェルデュールの特徴は、長さ30メートルものダイニングカウンターとライブキッチン形式のブッフェレストラン。新鮮で吟味された素材を目の前で調理。家族や気の合う仲間と、臨場感あふれる食卓を囲める。

コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
ロケーションとおもてなしで魅了

コートヤード・マリオット銀座東武ホテル（東京都中央区）は、日本のもてなしとマリオットブランドによる世界水準のホスピタリティの融合が特徴だ。また、銀座の中心という圧倒的なロケーションの良さで都内各エリアや舞浜エリアへのアクセスも抜群。成田、羽田空港までは直通リムジンバスを運行する。

東京スカイツリーのオフィシャルホテルとして日付指定入場券引換券付き宿泊プランやオフィシャルグッズショップなども用意。ビジネスから観光まで多様なニーズにこたえている。

銀座の喧騒を忘れさせる、モダンなインテリアを基調とした落ち着いた空間も特徴。上質なプライベートタイムを重視し、心から寛げるゲストルームを用意した。VIPへのもてなしや、よりグレードアップしたホテルライフを希望する人には、11階にあるスペシャルフロアを提案する。

チェックインは午後2時で、チェックアウトは午後零時。宿泊者が24時間、無料で使えるビジネスセンターとフィットネスジムも用意。1日1300円の全客室高速インターネット、ルームサービスがある。

上質なひと時を満喫できる

成田東武ホテルエアポート
空の玄関口に立地 くつろぎを提供

空の玄関口に立地する

成田東武ホテルエアポート（千葉県成田市）は、世界と日本を結ぶ空の玄関、成田国際空港のターミナルから約5分。日本観光のスタート地点として、絶好のロケーションを誇る。客室は22平方メートルのセミダブルルームから32平方メートルのツインベッドルームまで484室。ベッドサイズは全室140センチメートル以上でゆっくりと寛げる。

レストランは、バイキングがメーンの洋食レストラン「ラ・フロリダ」と中国料理の「竹園」がある。週末は、宿泊客はもとより成田周辺のファミリー客でにぎわう。

東京スカイツリーまでのアクセスは、空港第2ビル駅から成田スカイアクセス線（羽田空港行き）で押上（スカイツリー前）まで乗り換え無しの最短48分となっている。ホテル、空港間は無料送迎バスを運行する。

成田地区周辺ホテルの中でも、アジア各国の航空会社乗務員が数多く宿泊。毎朝7時から9時の間、ロビーは出発、到着のオリエンタル色の鮮やかなキャビンアテンダントのコスチュームであふれ、日本に居ながらアジアリゾートの雰囲気が味わえる。

第一ホテル両国
下町の風情あふれる

第一ホテル両国（東京都墨田区）がある両国は、大相撲の「国技館」と「江戸東京博物館」などがあり、日本の伝統文化と美しい自然が溶け合う街だ。「下町風情を感じてもらえる」と同ホテル。

東側客室の193室からは東京スカイツリーを、西側客室の141室からは隅田川と東京タワー、そして都心の夜景を望める。さらに、地上100メートルの宴会場「アジュール」には東西両方に窓が有り、東京スカイツリーと東京タワーを間近に感じられる。25階にあるレストラン「さくら」は、昼はバイキング、夜は和食の営業をしており、特に個室の窓からは北東約1・8キロに東京スカイツリーのダイナミックな姿を望むことができる。

東京都心の夜景を望む

同ホテルは、東京ディズニーリゾート（TDR）のグッドネイバーホテルでもあり、ホテルからTDRまで、無料送迎バスを運行する。

都心のあらゆる場所に簡単にアクセスできるロケーションの良さも特徴。都営大江戸線の両国駅・A1出口と直結しているので、天候が悪い日も傘を持たずに移動できる利便性の良さも売りだ。

浅草ビューホテル
伝統美と機能が調和

25階にある宴会場「大輪」

東京を代表する粋な風情と昔ながらの美しい日本の心を今に伝える浅草。浅草ビューホテル（東京都台東区）は、その浅草らしさを大切に、心づくしのもてなしで利用者を迎えている。地上28階建てで、客室数は330。17の宴会場と8つのレストラン、バーを備える。伝統美と近代的なホテル機能の調和が特徴だ。

浅草寺や新宿新都心、東京スカイツリーの眺望が楽しめるほか、館内はアールデコを基調としたインテリアデザイン。オーセンティックなインテリアに、厳選された調度品を揃えた客室が好評だ。

スカイツリー開業に向けて、すべての会場からスカイツリーを望めるスカイバンケットルーム3部屋を25階にオープン。仏蘭西料理「蒔絵」、中国料理「唐紅花」がある27階も一部改装し、両方からスカイツリーが見えるホール席を用意した。6階の日本料理「歌留多」からもスカイツリーを望める席を用意する。

スカイツリー開業日に合わせて22日には、26階のスカイグリルブッフェ&バー「武蔵（むさし）」がオープン。富士山の溶岩石から作った「武蔵釜」を用い、遠赤外線効果を利用した料理などを提供する。

ホテル イースト21東京
都心、湾岸一望のカクテルラウンジ

ウエディングも人気に

6月6日に開催されるJTB協定旅館ホテル連盟の2012年度の総会会場に選ばれたホテル イースト21東京（東京都江東区）。客室は404室で、シングルからスイートまで多種多様な客室をそろえる。ビジネスから観光まで、幅広いニーズに対応可能だ。

同ホテルの最大の特徴と言えば、ホテル最上階に位置する全面大きな窓に囲まれたカクテルラウンジ「パノラマ」が挙げられる。東京スカイツリーはもちろん、2月に開通した東京ゲートブリッジなど、都心からベイエリアにかけての贅沢な眺望が楽しめる。ウエディング会場として人気で、また、バータイムには外国人エンターティナーによる生演奏が評判だ。

夏期季節営業で、2千平方メートルの広さを誇るガーデンプールや和・洋・中を取り揃えるレストランも人気。最上階にある「木場」は、すべての席からスカイツリーを一望できる鉄板焼きレストラン。最高級の和牛など、高級食材を取り扱った料理が好評だ。

街歩きで魅力発見 “鬼平”巡るコースも

墨田区観光協会が提案

墨田区には名所や旧跡が点在し、下町文化やものづくりに触れられるスポットも数多い。これらの地域の魅力に触れてほしいと、墨田区観光協会は、街歩きを提案している。観光ガイド付きの街歩きツアーも各種実施している。ツアーの中でユニークなのが、時代小説「鬼平犯科帳」をテーマにした鬼平ツアー。東京スカイツリーの開業で話題のエリアは、鬼平作品の舞台としての魅力も秘めている。

鬼平犯科帳は、盗賊を取り締まる火付盗賊改方を率いた鬼平こと長谷川平蔵を主人公に、火付盗賊改方の与力や同心、配下の密偵、盗賊、市井の人たちを描いた池波正太郎の人気シリーズ。短編を中心に130作以上に及ぶ。テレビドラマや演劇にもなっている。

作品の舞台は、本所、押上、両国をはじめとして今の墨田区に位置するエリアが中心となっている。作品に登場する寺社などが点在しているほか、本所界隈は江戸期の区画と大きく変わっておらず、作品中の場所を現在の地図の上に推定することもできる。

観光ガイドが案内するツアー

墨田区などが観光案内の立て札を設置。鬼平に関する記述もある

墨田区観光協会は、鬼平の人気に着目し、鬼平ツアーを企画した。2007年12月に初めて開催して以来、延べ参加者数は1千人を超えている。江戸切絵図（古地図）を参考に、鬼平の作品に登場する場所を散策する楽しさが多くの参加者を魅了している。

鬼平にまつわるスポットは、鬼平の親友、岸井左馬之助が寄宿していた春慶寺、鬼平の行きつけでシリーズに56回も登場する軍鶏鍋屋「五鉄」の所在推定地、作品に「二ツ目橋」の名で登場する竪川にかかる二之橋など。これらのスポットには区などが観光案内の立て札を設置している。

人気の高い短編作品にちなんだコースも提案している。「本所・桜屋敷」コースや「寒月六間掘」コースは物語の展開に沿ってスポットを巡る。所要時間は約3時間。昼食には五鉄のモデルと言われる老舗「かど家」の軍鶏鍋を付けている。

二之橋付近の「五鉄」の推定地

墨田区観光協会の観光プロデューサー、千葉良規氏は「鬼平のファンは年齢層が幅広く、ツアー参加者は作品についてとても詳しい。十分な知識を持つガイドを付けるようにしている」と話す。

街歩きツアーは旅行会社の依頼に応じた開催も可能。問い合わせは墨田区観光協会（☎03・5608・6951）まで。

ツリータウン内に産業観光プラザ開設

墨田区の魅力を発信する拠点として「産業観光プラザすみだまち処」が22日、東京スカイツリータウンの商業施設「東京ソラマチ」内にオープンする。墨田区から委託を受けて墨田区観光協会が運営する。江戸時代から現代へと伝わる職人たちの技術、バラエティあふれる下町の味、街歩きのお勧めスポットなど、産業や文化、観光などを紹介していく。

工芸品の職人による製造の実演や墨田区内の企業が開発した新製品の紹介を行うゾーン、特産品の即売スペース、地元の味を堪能できる「茶屋」などがある。まち歩きに役立つ情報などを提供する観光案内カウンターも開設する。

天望デッキ入場券付き観光チケット販売開始

墨田区観光協会は10日、東京スカイツリー天望デッキの入場券と、各種観光プランをセットにした「すみだ観光チケット」の販売を開始した。予約などの詳細は同協会ホームページに掲載している。

天望デッキの日付指定入場券の引き換え券、産業観光プラザすみだまち処で利用できるクーポン券（1千円分）と、観光プランをセットにした。観光プランは時期によって変わるが、すみだトリフォニーホールでのコンサート、向島花街の料亭での昼食などが設定されている。

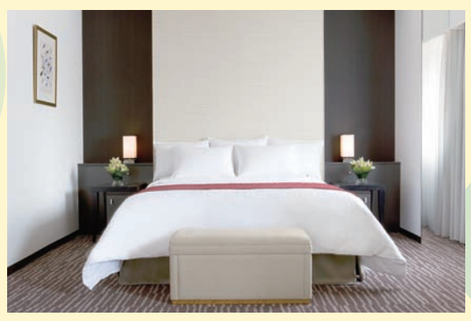
東京スカイツリー®オフィシャル・フレンドシップホテル

■東武ホテルレバント東京

楽の東1.5km先にそびえる東京スカイツリー®の全貌を楽しめるホテル

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-2　TEL03-5611-5511 FAX03-5611-5500
http://tobuhotel.co.jp/levant

■コートヤード・マリオット銀座東武ホテル



銀座が選んだ大人の上質。日本初マリオットホテルブランド

〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-10　TEL03-3546-0111 FAX03-3546-8990
http://www.tobuhotel.co.jp/ginza/

■成田東武ホテルエアポート

成田国際空港に一番近く、国際色豊かなホテルです。

〒286-0106 千葉県成田市取香320-1　TEL0476-32-1234 FAX0476-32-0617
http://www.naritatobuhotel.com

■第一ホテル両国

地上100mの宴会場とレストランからの眺望は最高!!

〒130-0015 東京都墨田区横網1−6−1　TEL03-5611-5211 FAX03-5611-5212
http://www.dh-ryogoku.com/

■浅草ビューホテル

古き良き美意識と未来の風景が出会うホテル

〒111-8765 東京都台東区西浅草3-17-1　TEL03-3847-1111 FAX03-3842-2117
http://www.viewhotels.co.jp/asakusa/

■ホテル イースト21東京

オークラホテルズの上質なおもてなしを。

〒135-0016 東京都江東区東陽6-3-3　TEL03-5683-5683 FAX03-5683-5775
http://www.hotel-east21.co.jp/